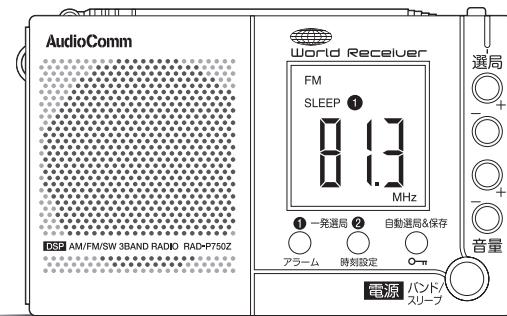


保証書付 取扱説明書
AM/FM/SW 3バンドDSPラジオ

型番: RAD-P750Z 品番: 07-9820



このたびは、AudioComm® AM/FM/SW 3バンドDSPラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1	イヤホンで聴くときは	10
静電気に関するご注意	1	アラーム設定	11~12
安全上のご注意	2~4	スリープ機能	12
乾電池の入れかた	4	故障かなと思ったら	13
各部の名称	5	お手入れのしかた	13
ホールド機能	5	主な仕様	14
時刻設定のしかた	6	保証書とアフターサービスについて	15
ラジオ放送を聴く	7~10	保証書	裏表紙
自動選局&保存	9		
一発選局	9~10		

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使うと、耳にびりびりと痛みを感じることがあります。これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)



警告



使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、使用を中止する

●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。



使用禁止

万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する

●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●販売店にご連絡ください。

雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する

●落雷や感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告

 禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電のおそれがあります。
 乾電池に注意	乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。	 禁止	車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。 ●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分に注意ください。

⚠ 注意

 乾電池を取り外す	長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。	 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●故障の原因となることがあります。
 正しく入れる	乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 禁止	落としたり、重いものをのせたりしない。また、本機に強いショックを与えたとき、圧力をかけたりしない ●故障や破損の原因になります。
 禁止	指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	長時間、大音量で聴き続けない ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない ●落下による故障やけがの原因となることがあります。
			湿気やほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- ・火中の投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠ 注意

- ・④の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭いてください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

乾電池の入れかた

- 1 電池カバーの“OPEN”部を押しながら矢印の方向にスライドさせて、電池カバーを取り外します(図1)。
- 2 本体記載の図柄を参照し、単3形乾電池×2本(別売)を④の向きに注意しながら正しく入れます(図2)。コイルバネのあるほうが④です。2本目を入れるときは④側から入れてください。
- 3 乾電池を入れ終えたら、電池カバーを元通りにしっかりと閉めてください。

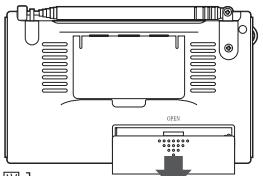


図1



図2

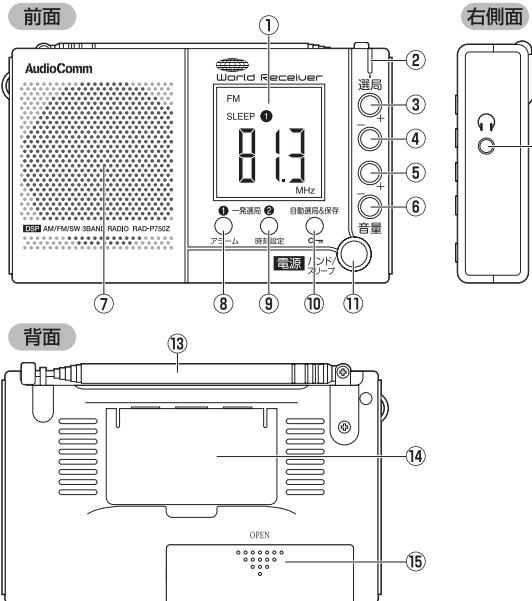
単3形乾電池×2本
(別売)

リボンの上から乾電池を入れると、取り出しやすくなります

ヒント

乾電池交換の目安：乾電池が消耗すると、ディスプレイに「□」マークが点滅表示され、音量が小さくなったり、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。また、交換の際、乾電池未装着の時間が長くなると、時刻の設定がリセットされることがあります。その際は設定し直してください(P.6参照)。

各部の名称



- ①ディスプレイ
- ②同調インジケーター
- ③選局ボタン(+)
- ④選局ボタン(-)
- ⑤音量ボタン(+)
- ⑥音量ボタン(-)
- ⑦スピーカー
- ⑧一発選局1／アラームボタン
- ⑨一発選局2／時刻設定ボタン
- ⑩自動選局&保存／ホールドボタン
- ⑪電源／バンド／スリープボタン
- ⑫イヤホン端子
- ⑬FM／SWロッドアンテナ
- ⑭横置き用スタンドパネル
- ⑮電池カバー

ホールド機能

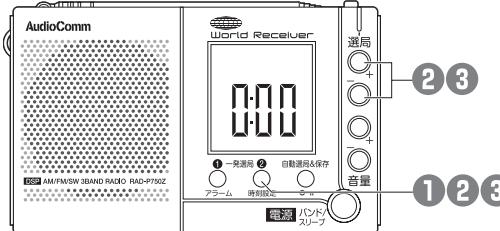
電源が切れているときに自動選局&保存／ホールドボタンを長押しすると、ホールド機能が有効になり、ボタン操作が無効になります。

- バッグなどにしまったとき、誤操作を防ぐのに便利です。
- ホールド機能が有効なときは、ディスプレイにホールドマークが表示されます。
- ホールド機能を解除するには、もう一度、自動選局&保存／ホールドボタンを長押ししてください。



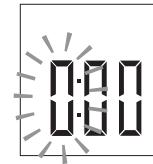
時刻設定のしかた

電源が切れているときに以下の操作をしてください。



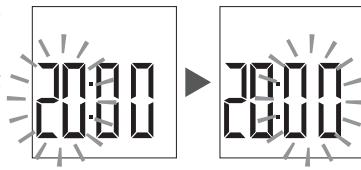
- 1 一発選局2／時刻設定ボタンを長押しします。

●「0:00」のうち「時」表示が点滅します。



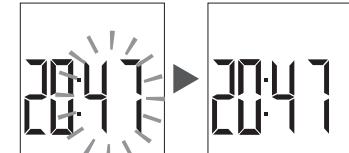
- 2 選局ボタン(+/-)を押して「時」を選び、一発選局2／時刻設定ボタンを押します。

●一発選局2／時刻設定ボタンを押すと、「分」表示が点滅します。



- 3 選局ボタン(+/-)を押して「分」を選び、一発選局2／時刻設定ボタンを押します。

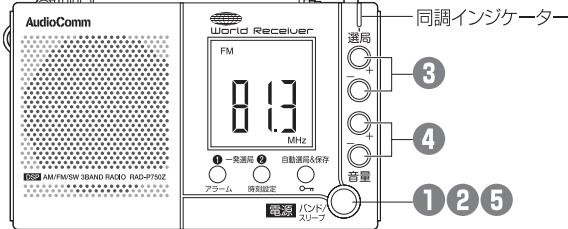
●一発選局2／時刻設定ボタンを押すと設定が確定します。



ご注意 何も操作しない状態が約7秒間続くと、それまでの「時」、「分」の数値で設定が確定し、点滅が終了します。修正する場合は最初からやり直してください。

ラジオ放送を聞く

前面

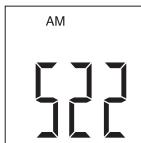


- 1 電源／バンド／スリープボタンを押して電源を入れます。
●「on」と表示された後、ラジオの受信画面になります。

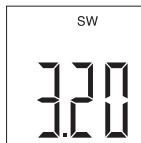
- 2 電源／バンド／スリープボタンを押して、お聴きになりたいバンドを選びます。
●押すたびにバンドが変化します。



FM放送の表示例



AM放送の表示例



SW(短波)放送の表示例

- 3 選局ボタン(+/-)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。
●選局ボタン(+/-)を長押しすると、周波数がはやく送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
●良好な状態で受信すると、同調インジケーターが点灯します。

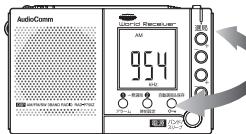
- 4 音量ボタン(+/-)で音量を調節します。
●音量の上げすぎにご注意ください。
●ディスプレイに音量レベル(0~16)が表示され、約2秒後に元の表示に戻ります。

- 5 終了するときは、電源／バンド／スリープボタンを長押しして電源を切ります。
●「OFF」と表示された後、現在の時刻表示に戻ります。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送・SW放送の受信

FM / SWロッドアンテナを伸ばし、長さ、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

- テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。

- 持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、必ずFM / SWロッドアンテナを縮めてください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

自動選局&保存

※AM・FM・SWそれぞれ最大38局まで登録できます。

お使いの地域で受信可能な放送局を一括して自動登録することができます。登録したいバンドを選択した後、以下の操作をしてください。

自動選局&保存

1 自動選局&保存を開始するには、自動選局&保存／ホールドボタンを長押しします。

- 周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順に登録します。受信可能な放送局が見つかると、周波数に続いて、「P03」、「P04」、「P05」の順で登録番号が一時的に表示され、スキャンしていきます。
- 自動選局&保存が終わると、一番最初に登録された放送局を受信します。



登録時の表示例

2 登録した放送局を呼び出すには、自動選局&保存／ホールドボタンを数回押して、聴きたい放送局の登録番号を選んでください。

- 登録番号は数秒後に周波数表示になります。

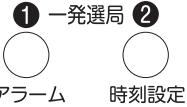
ご注意

- できるだけ電波状況のよい場所で行なってください。
- 自動選局&保存を行なうと、以前に登録した内容は一括して上書きされます。
- 乾電池を抜いてしばらく放置し、再装着した場合は、再登録が必要になることがあります。
- お使いの地域が変わった場合は、自動選局&保存をし直してください。

一発選局

※AM・FM・SWそれぞれ最大2局まで登録できます。

よく聴く放送局を登録し、ワンプッシュで選局することができます。



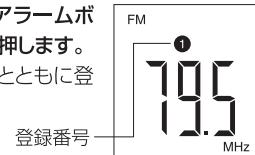
1 登録したい放送局を受信している状態で、一発選局1／アラームボタンまたは一発選局2／時刻設定ボタンを長押しします。

- 一発選局1／アラームボタンを長押しすると「P01」が、一発選局2／時刻設定ボタンを長押しすると「P02」が点滅します。



2 点滅している間にもう一度、一発選局1／アラームボタンまたは一発選局2／時刻設定ボタンを押します。

- 点滅が停止し、登録した放送局の周波数とともに登録番号が表示されます。



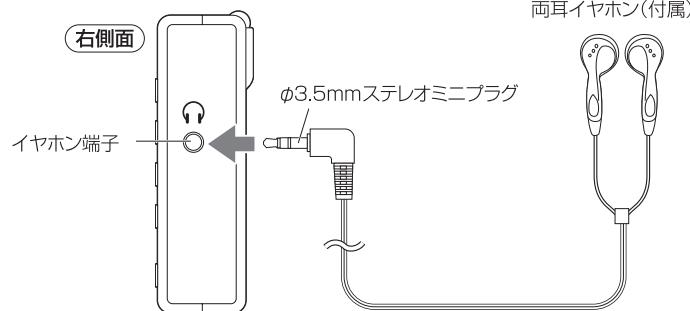
3 登録した放送局を呼び出すには、登録時に選んだほうの一発選局ボタンを押します。

ご注意

- ステップ②で点滅状態が約5秒間続いた場合、登録番号が表示されますが、登録自体は完了していません。確認して正しく登録されていないときは、もう一度登録したい放送局を受信した後に、最初からやり直してください。
- 登録内容を変更するには、上記と同じ方法で上書きしてください（消去はできません）。
- 乾電池を抜いてしばらく放置し、再装着した場合は、再登録が必要になることがあります。

イヤホンで聞くときは

両耳イヤホン(付属)のプラグを、右側面のイヤホン端子に接続します。接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。



ご注意

- 別売のイヤホンを使う場合、モノラルタイプのプラグはご使用になれません。
φ3.5mmステレオミニプラグタイプのイヤホンをご使用ください。

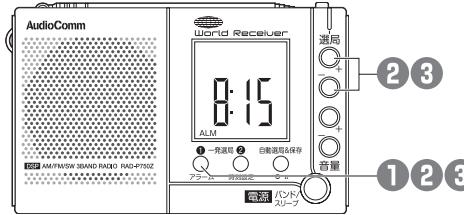
アラーム設定

アラーム設定を
始める前の準備

P.7~8を参照してアラーム起動時の放送局を受信し、音量を調節した上で電源を切ります。その後、以下の操作を行なってください。

※設定した音量にてアラームが起動します。また、起動時の受信不良を防止するため、できるだけ受信状態の良い場所に置いてください。

前面



① 電源が切れた状態で、一発選局1／アラームボタンを長押しします。

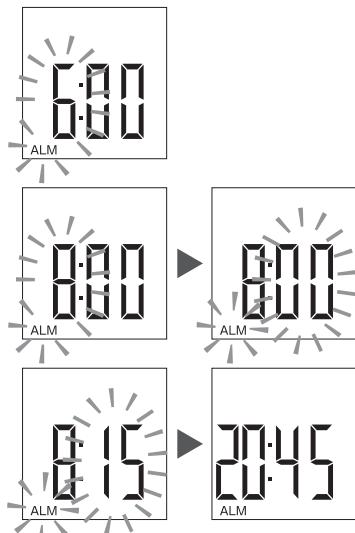
- 「ALM」マークと「6:00」が表示され、そのうち「6(時)」表示が点滅します。

② 選局ボタン(+/-)を押して「時」を選び、一発選局1／アラームボタンを押します。

- 一発選局1／アラームボタンを押すと、「分」表示が点滅します。

③ 選局ボタン(+/-)を押して「分」を選び、一発選局1／アラームボタンを押します。

- 一発選局1／アラームボタンを押すと、設定が確定し、数秒後に現在の時刻表示になります。
- アラームが設定されているときは「ALM」マークが表示されます。



ご注意 何も操作しない状態が約7秒間続くと、それまでの「時」、「分」の数値にて設定が確定し、点滅が終了します。修正する場合は最初からやり直してください。

ヒント アラームが起動する前に設定を解除するには：一発選局1／アラームボタンを押すと、「OFF」と表示された後「ALM」マークが消え、設定が解除されます。

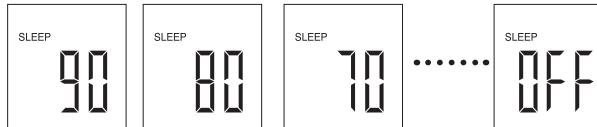
アラーム(ラジオ)が起動したら：そのまま聴き続けるか、電源／バンド／スリープボタンを長押しして電源を切ってください。

同じ時刻でアラームを再設定するには：電源が切れている状態で一発選局1／アラームボタンを押すと、「on」と表示された後に「ALM」マークがしばらく点滅し、設定が完了します。ただし、放送局や音量は最後に電源を切ったときの設定になりますので、事前に必要に応じて再設定してください。

スリープ機能

① 電源が切れた状態で、電源／バンド／スリープボタンを長押しします。

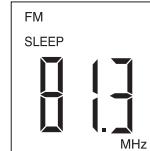
- 「SLEEP」と「90」が表示され、そのまま押し続けると、「90」、「80」、「70」…と10分単位で数字が減っていきます。



「OFF」は
「スリープ設定をしない」
の意味

② 設定したい時間(分)が表示されたら、指を離します。

- 一時的に「on」と表示された後、電源が入りラジオを受信します。
- スリープ設定が有効なときは「SLEEP」マークが表示されます。



ヒント スリープ機能を解除したいときは、電源を切ってください。

故障かなと思ったら

症 状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●乾電池の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源は入っていますか。 ●音量が最小になってしまいませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。
正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、電源を入れることができてもすぐに切れたり、ボタン操作ができなくなることがあります。新しい乾電池と交換してください。 ●一時的に誤作動している可能性があります。電源を切った後、乾電池を取り外し、30秒以上経過してから再度装着し、電源を入れてみてください。
操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ホールド機能が有効になっていませんか。
ラジオに雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

お手入れのしかた

表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

主な仕様

電源	DC3V 単3形乾電池×2本(別売)
受信周波数	AM : 522~1620kHz (9kHzステップ)
	FM: 76~108MHz (100kHzステップ)
	SW : 3.00~21.8MHz(5kHzステップ)
アンテナ	FM・SW : ロッドアンテナ AM : 内蔵フェライトバー・アンテナ
スピーカー	定格0.5W×1
イヤホン端子	φ3.5mmステレオミニプラグ
連続使用時間 の目安	スピーカー使用時： AM / FM / SW受信 約16時間
	イヤホン使用時： AM / FM / SW受信 約30時間
時計	精度：月差30秒以内
外形寸法	幅120×高さ74×奥行24mm(突起物含まず)
質量	約115g(乾電池含まず)
付属品	両耳イヤホン、保証書付取扱説明書

*連続使用時間の目安は、いずれもアルカリ乾電池新品使用・音量中位の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。

*本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

*本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と外観が一部異なる場合があります。